

# データ サイエンスで 政策の質を 向上させる



ビッグデータやAIという最新のデータサイエンスの技術は社会科学の様々な分野に取り入れられ、研究の精度の向上に重要な役割を演じています。こうした学問的取組は、公的機関や企業などが実施する「証拠をもとにした政策決定」(EBPM: Evidence-based Policy Making) を支援し、政策立案や実施の向上に貢献することも期待されています。

今回のサイエンスカフェは、大学院生・学部生・高校生を対象に開催します。データサイエンスの技術を活用することで政策の質を向上させる方法について、3名の専門家を招聘し、デモンストレーションを交えた講演を通じて、研究の面白さや社会実装を参加者に実感してもらうことを目指します。

## カフェ講師

**谷口 尚子**

慶應義塾大学法学部政治学科教授  
日本学術会議第一部会員

**伊藤 岳**

大阪公立大学大学院経済学研究科経済学専攻准教授

**秦 正樹**

大阪経済大学情報社会学部准教授

## 聞き手

**鈴木 基史**

京都大学大学院法学研究科教授  
日本学術会議第一部会員

日時 令和6年  
**12/14(土)** 13:00~15:00

場所 **同志社大学**  
新町キャンパス 臨光館204教室

参加費 **500円** (飲み物・茶菓子代として)

定員 **50名程度** 事前申込制・先着順

**参加申込み方法** 右記メールアドレスからお申込みください。

※タイトルに「サイエンスカフェ参加希望」と記載の上、①氏名、②メールアドレスを明記ください。

✉ [science.cafe.kansai@gmail.com](mailto:science.cafe.kansai@gmail.com)  
担当/川瀬 朗 (京都大学大学院法学研究科・助教)